

明石市立東部学校給食センター完成

国道 175 沿いの和坂 1 丁目の市バス車庫跡地に 2016 年 10 月より建設中であった明石市立東部学校給食センターが今年 1 月末に完成した。1 月 31 日には同施設において内覧会があり、市議会議員や地元住民、PTA 関係者あわせて約 60 名が参加した。市長、市議会議長の挨拶、その後、市の担当者の先導により施設内の案内と見学が行われた。

調理員の更衣室入口にはエアーシャワー室が設けられ調理室に埃を持ち込まないようにしていること、魚肉類、野菜類等の食材を受け入れる場所と調理する場所には仕切が設けられて簡単に行き来できないようにしていること、調理の流れに沿って最新式の調理機器が配置されていることなど、衛生上のみならず作業上でもいろいろな工夫がなされている。



食材受け入れ場所と調理室間の仕切り窓

今後、2 月から 3 月にかけて調理等の事前訓練が予定されており、4 月中旬から各中学校に給食を配送することになるという。

完成した東部学校給食センターは、敷地面積約 6,100m²、延べ床面積約 3,999m²、調理能力 1 日に 7,000 食、給食の配送される中学校は 10 校（錦城、朝霧、衣川、野々池、望海、大久保、大久保北、高丘、江井島）である。



調理機器の一例 ステンレス製回転釜

学校給食センターは、当面、市内の中学校への給食を目的として建設されたが、将来的には地域に密着した給食センターとして、一人暮らしの高齢者に対する給食にも対応できるようにしてゆきたいと言われていた。